

市民意識調査に御協力をお願いします



令和5年7月31日(月)まで

北上市では、総合計画に基づくまちづくりにおいて、市民のみなさまの生活の満足度などを把握し、今後の市の政策づくりや行政サービスの改善などにつなげるため、市民のみなさまにアンケート調査への御協力をお願いしております。



Q&A

Q どうして私に届いたの？

A このアンケートは、令和5年6月1日時点で北上市内にお住まいの満16歳以上の方の中から、年齢や地域などのバランスを考慮したうえで、無作為に1,700名を選び、送付しています。

Q どうやって回答するの？

A 令和5年7月31日(月)までに、同封した「調査票」に直接記入して郵送するか、パソコンやスマートフォンを利用して専用ウェブページから回答してください。詳しくは、「調査票」の表紙をご覧ください。

Q 家族が回答しても良いの？

A お送りした封筒のあて名の方がお答えください。
ご本人の記入が難しい場合は、身近な方が意見を聞きながら代わりに回答いただけると幸いです。

Q 個人が特定されることはない？

A 皆様の氏名や住所などの情報は、調査票とお礼状の送付以外には使用しません。
回答は匿名ですし、回答した内容も、個人を特定できないように統計的な数値として集計します。

Q 「北上市のまちづくり」って言われても、よくわからない…

A 次ページ以降で、総合計画のことや、北上市の状況を解説しています。ご覧ください！ →

「北上市総合計画」って、なに？

市では、市民のみなさまが生活していくのに必要な行政サービス（住民票や戸籍、税に関する手続き、福祉サービスの提供、農商工などの産業の支援、道路や公園などのインフラ整備や維持、学校の運営など）を行っています。

北上市総合計画は、北上市がどのようなまちを目指し、どんなことに重点を置いていくかを定めたもので、市で行う事業は、この計画に基づいて行われます。つまり、**市にとって一番重要な計画**といえます。

市は、平成22（2010）年度に中長期的展望をもつ計画的・効率的な市政運営の指針として「北上市総合計画2011～2020」を策定し、将来の都市像『豊かな自然と先端技術が調和した魅力あふれるまち』を実現するため、10年間、各種の施策及び事業を展開してきました。

前計画が令和2（2020）年度で終了したことから、前計画に基づく取組の成果、社会経済情勢の変化による新たな課題等を整理し、令和3（2021）年度から10年間の新しい指針として「北上市総合計画2021～2030」を策定しました。

この調査は、総合計画に基づく市のまちづくりにおいて、市民のみなさまの個人の暮らしや生活実感などを把握し、その結果を今後の市の政策づくりや、行政サービスの改善などにつなげるために行うものです。

調査の3つの視点

- ① 市民のみなさまの生活実感に変化があるか
- ② 個人の考え方や暮らしの満足度はどうか
- ③ これから必要となる分野は何か



これらについて、皆さんにうかがいます。
 「北上市総合計画」を読んだことがなくても大丈夫！
 北上市の状況を簡単に紹介します。

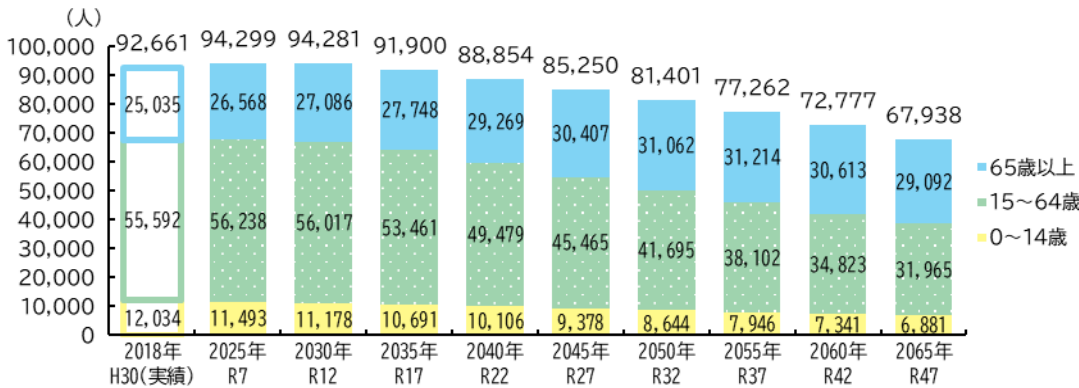
まちづくりの将来像

“うきうき” “わくわく”
 するまち 北上

これまで北上市は、先人たちから引き継いだ豊かな自然や歴史、文化を守り育てながら、市民・企業・行政等のたゆみない努力により、活気あるまちとして発展してきました。現在、人口減少、少子高齢化の進行等、本市を取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況にあっては、誰もが活躍するための環境づくりが求められており、市民の目線に立ったまちづくりがこれまで以上に大切になります。このまちを、さらにより良いまちにして未来へつなぐため、市民一人ひとりの豊かなくらしを追求し、市民が「“うきうき” “わくわく”」するまちの実現を目指します。

将来人口

本市の人口の長期的な見通しは、国立社会保障・人口問題研究所によると、年々減少すると推計されています。こうした見通しの中、本市の長所である力強い産業基盤と子育て世代の定住化政策、都市拠点と魅力ある16の地域との連携を進め、若い世代を中心とする転入者の増加による社会増とそれに伴う出生率向上を目指します。これらに加えて、健康長寿、多様な人々が共に生きる社会の形成を進める政策を推進する他、企業進出等に伴う新たな雇用計画が見込まれることから、本計画に基づく政策の成果として計画最終年度の令和12（2030）年人口94,300人を目標とします。



人口の目標
 令和12(2030)年
94,300人

4つの基本目標

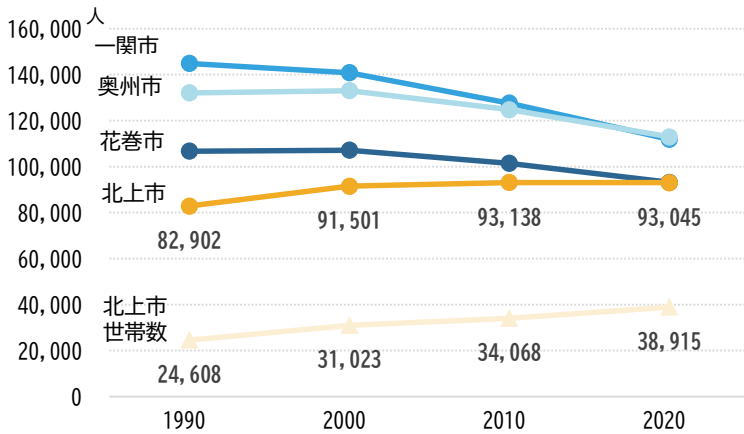
まちづくりの将来像に向けて、社会環境の変化に対応し、市内全域において質の高い政策を実現するため、関連する政策分野の連携を図るとともに、新たな行政ニーズへ柔軟に対応出来るよう、4つの基本目標を定めています。

- 「ひと」 : 未来に輝く、未来を創る人づくり
- 「なりわい」 : 挑戦する心を原動力とした力強い地域経済の創出
- 「くらし」 : 生きる喜びと生涯安心のくらしをサポート
- 「しくみ」 : 誰もが主体的に参画する市民協働の深化、より良いまちづくりに挑戦し続ける行財政改革

北上市って、どんな状況なの？

1 人口と世帯数の推移

(各年10月1日)



出典：総務省「国政調査」

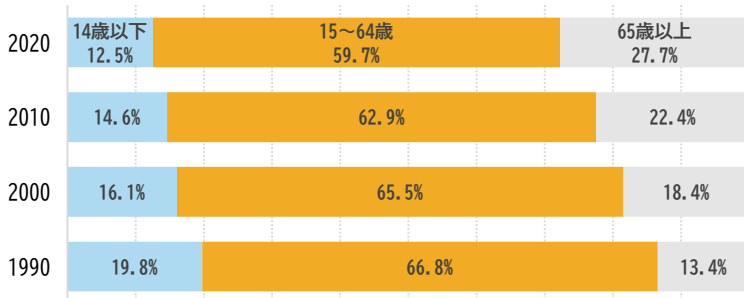
国勢調査によると、30年前と比べて、北上市の人口は約10,000人増加しています。近隣市では減少していますので、北上市が人口減少社会の中にあっても、比較的人口を維持してきたことがわかります。

❓ 県内で30年前より人口が増えている自治体は？
→ 北上市、滝沢市、紫波町、矢巾町

一方、世帯数は増え続けています。県内多くの自治体と同じ傾向の中、当市は特に増加が顕著です。

2 北上市民の年齢構成

(各年10月1日)



出典：総務省「国政調査」

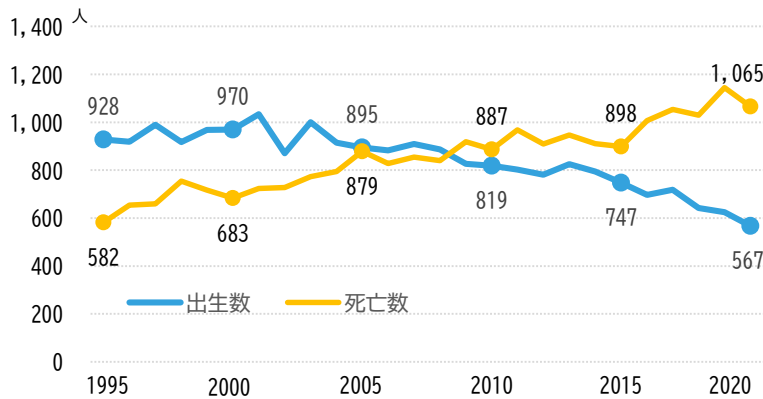
30年前と比べて、65歳以上の割合が2倍以上に増えています。北上市でも、少子高齢化が進んでいることがわかります。

❓ 各区分の割合が県内1位の自治体は？

※令和2年10月1日現在、県内33自治体の順位

- 14歳以下 滝沢市 13.8% (北上市：2位)
- 15～64歳 矢巾町 61.9% (北上市：3位)
- 65歳以上 西和賀町 51.0% (北上市：31位)

3 出生数と死亡数



北上市での子どもの出生数は近年大きく減少傾向にあり、一方で死亡者数は、増加傾向にあります。

出生数が死亡数を下回ることを「自然減」といいますが、北上市では、平成21年に初めて「自然減」に転じ、それ以降減少幅は広がっています。

❓ 「自然増」している自治体ってあるの？

→2020年の集計では、県内で自然増している自治体はひとつもありません。

北海道・東北全体でも、宮城県仙台市の宮城野区と北海道倶知安町の2自治体のみです。

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

4 転入数と転出数



北上市に引っ越してきた人数（転入数）や、逆に引っ越して出ていった人数（転出数）は社会情勢などによって上下します。

転入数が転出数を下回ることを「社会減」といいます。北上市では、2020年頃に大きく社会減となった時期がありましたが、社会増の年が多い傾向にあります。

北上市が、社会増によって人口を維持してきたことがわかります。

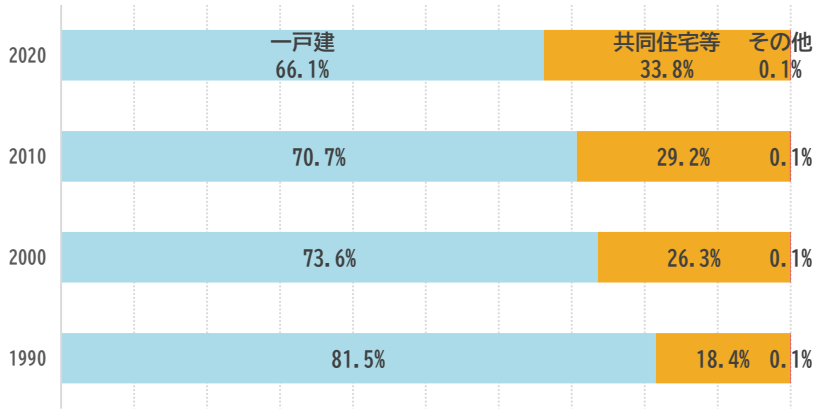
❓ 県内で社会増傾向にある自治体は？

→滝沢市、花巻市、北上市、紫波町、金ヶ崎町

(2020年)

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

5 住まいの状況



みなさんが、どのような住宅に住んでいるかをみると、この30年で一戸建てに住む世帯が81.5%から66.1%まで減少し、共同住宅や長屋に住む世帯が18.4%から33.8%まで増加しています。

企業誘致による単身者の転勤増や核家族の増加などが要因として考えられます。立地企業が多く産業振興に強い北上市の特徴であり、この傾向はしばらく続くと考えられます。

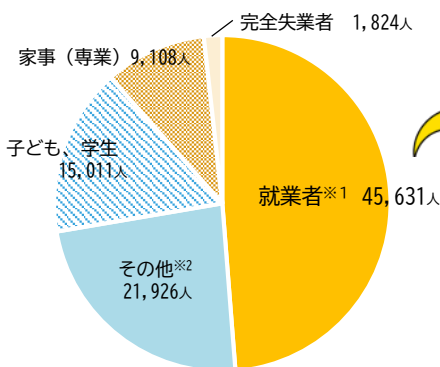
❓ 県内でアパートに住む世帯が多い自治体は？

- 第1位 盛岡市 46.7%
- 第2位 北上市 33.8%
- 第3位 矢巾町 32.5%

出典：総務省「国政調査」

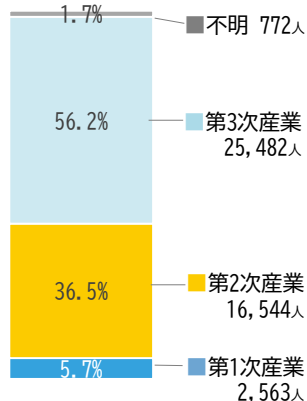
6 市民の就労状況、産業

① 北上市民の就業状況



出典：総務省「国政調査」

② 産業別就業者数



令和2年10月1日に実施した国勢調査によると、当時の北上市民93,045人のうち、就業している人は45,631人です。

その就業者が従事している産業別では、第3次産業が最も多く、56.2%を占めますが、北上市の特徴は、第2次産業が36.5%を占めることです。この割合は、県内で2番目に大きいです。

※1 雇用形態に関わらず少しでも収入があった場合は就業者とカウント
 ※2 調査期間中に収入を伴う仕事や家事・通学をしていない者（高齢者など）と、就業状況が不明の者の合計

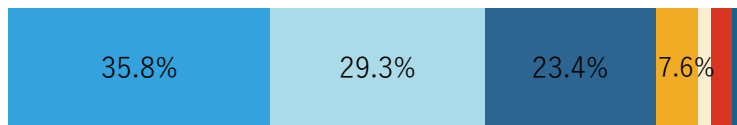
❓ 各区分の割合が県内1位の自治体は？

- 第1次産業 九戸村 30.9%（北上市：30位）
- 第2次産業 金ケ崎町 37.9%（北上市：2位）
- 第3次産業 盛岡市 83.2%（北上市：20位）

7 北上市の住みやすさ

① これからも北上市に住み続けたいと思いますか。

YES 65.1%
NO 7.6%



前回（令和4年）の北上市市民意識調査によると、「これからも北上市に住み続けたいと思う」または「ややそう思う」と考えている人は、65.1%でした。反対に、「全く思わない」または「あまり思わない」と考えている人は、わずか7.6%でした。

北上市にお住まいの多くの皆さんが「住みやすさ」を感じていることがわかります。

- そう思う
- ややそう思う
- 普通、またはどちらともいえない
- あまり思わない
- 全く思わない
- わからない
- 無回答

出典：北上市「第9回市民意識調査」



ほんの一部ですが、北上市総合計画のこと、北上市の状況などについて知っていただけましたか？より良いまちづくりを進めるため、皆様が暮らして感じingことを、ぜひアンケートにご回答ください。設問数が多く、お手数をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。